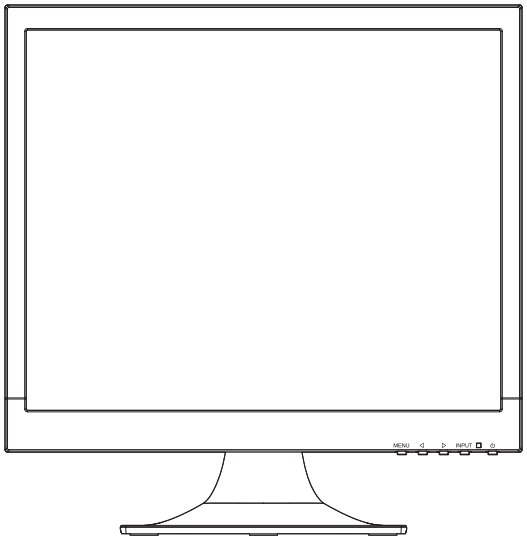
TOSHIBA
Leading Innovation

# TFT 液晶ディスプレイ 17 型 -L
# 取扱説明書

IPCD128A3




ご使用の前に、『安心してお使いいただくために』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お客様に安全に作業していただくための事項です。

# はじめに

このたびは「TFT液晶ディスプレイ 17型-L」をお買い求めいただき、ありがとうございます。
本書は、「TFT液晶ディスプレイ 17型-L」の取り扱い方法および注意事項について説明しています。
ご使用にあたり、この説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
本製品の性能を十分にご活用くださいますようお願いします。
また、本書は必要に応じてお使いいただけるように、取り出しやすい場所に大切に保管してください。

# もくじ


はじめに ……1
安心してお使いいただくために ……3
安全上のご注意 ……5
ご使用上のお願い ……9
使用環境と姿勢 …… 15
廃棄について …… 17
本書の読み方 …… 21
表記上の約束 …… 22

**1章　モニター台座の取り付け、取りはずし ……23**
1　取り付け …… 23
2　取りはずし …… 24

**2章　各部の名称と機能 ……25**
1　液晶ディスプレイ …… 25

**3章　接続方法 ……29**
1　パソコン本体との接続 …… 29
2　角度の調整について …… 32
3　アームスタンドへの取り付け／取りはずし …… 33

**4章　電源の入れ方、切り方 ……39**
1　電源の入れ方 …… 39
2　電源の切り方 …… 40
3　信号ケーブルがパソコン本体に接続されていない場合 …… 40

**5章　オンスクリーンディスプレイ（OSD）画面調整 ……41**
1　OSD機能について …… 41
2　画面の調整方法 …… 42

**6章　便利な機能 ……52**
1　省電力機能について …… 52
2　DDC™機能について …… 52
3　サウンド機能について …… 53
4　表示解像度の変更について …… 56

**7章　故障かな？と思ったら ……57**
1　画面が表示されず、電源表示ランプが点灯しない場合 …… 57
2　画面が表示されず、電源表示ランプが点灯する場合 …… 57
3　画面が乱れてしまう場合 …… 57
4　画面のサイズや表示位置がおかしい場合 …… 57

**付録　……58**
1　ハードウェア仕様 …… 58
2　信号コネクタピンアサイン …… 59
3　サポート表示タイミング …… 61
4　外形寸法図 …… 61

**修理サービスについて……62**

# 安心してお使いいただくために

お買い求めいただいた製品（本製品）のご使用の前に、必ず取扱説明書をお読みください。
本書には、ご使用の際の重要な情報や、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項が示されています。
本書は、必要なときにすぐに参照できるように、お手元に置いてご使用ください。お子様がお使いになるときは、保護者のかたが取扱説明書の中身をお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

本書では、本製品を安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。

## 表示の説明

| 表示 | 表示の意味 |
|---|---|
| ⚠警 告 | “取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことが想定されること”を 示します。 |
| ⚠注 意 | “取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定されること”を示します。 |

＊1：重傷とは失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど（高温・低温）、感電などをさします。
＊3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

## 図記号の例

| 図記号 | 図記号の意味 |
|---|---|
| 禁止 | ⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。 |
| 指示 | ●は、指示する行為の強制（必ずやること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。 |
| 注意 | △は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。 |

## 免責事項について

- 地震、雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社はいっさい責任を負いません。
- 本製品および本製品に付属のソフトウェアの使用または使用不能から生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等について、当社はいっさい責任を負いません。
- 本製品に付属の取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社はいっさい責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社はいっさい責任を負いません。
- 記憶装置（ハードディスク、フロッピーディスクなど）に記録された内容は故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。

・本製品の保証条件は、付属している当社所定の保証書の規定をご覧ください。
・本製品および本製品に付属のソフトウェアの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

# ー 安全上のご注意 ー

## ■ 本体の取り扱いについて

### ⚠警 告

**●もし、異常な音やにおいがしたり、過熱、発煙したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く**

そのまま使用すると、火災・やけど・感電のおそれがあります。

電源プラグを
コンセントから抜け

**●もし、落としたり、強い衝撃(しょうげき)を与えたときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く**

そのまま使用すると、火災・やけど・感電のおそれがあります。

電源プラグを
コンセントから抜け

**●分解・改造・修理しない**

火災・感電・故障・けがのおそれがあります。

分解禁止

**●雷の発生が予想されるときは、電源プラグを抜く**
**また、雷が鳴り出したら、本製品やケーブル類に触れない**

感電・故障の原因となります。

指示

**●ビニール袋などの包装材料は乳幼児の手の届かないところに保管する**

口に入れたり、頭からかぶるなどして窒息のおそれがあります。

指示

**●取りはずした小さな部品（カバー、キャップ、ネジなど）は、乳幼児の手の届かないところに保管する**

誤って飲み込むと窒息のおそれがあります。万が一、飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

指示

**●通電中の本体にふとんをかけたり、暖房器具の近くやホットカーペットの上に置かない**
**また、通風孔に触れたり、通風孔をふさがない**

内部の温度が上がり、火災・やけど・故障のおそれがあります。

禁止

## ⚠注 意

**●本体の上または近くに「花びん・コップ」などの液体の入った容器や、「ステープル・クリップ」などの金属物を置かない**

異物（金属片・液体など）が本体の内部に入ると火災・感電の原因となります。
異物が内部に入った場合は、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

禁止

**●ふろ場、シャワーなどの水がかかったり、湿度の高い場所あるいは屋外などの雨や霧が入り込む場所では使用しない**

火災・感電の原因となります。

禁止

**●ぐらついた台の上、かたむいたところなど不安定な場所に置かない**

落ちたり、たおれたりしてけがをするおそれがあります。

禁止

**●移動したり、持ち運ぶ前に、電源コードと信号ケーブルを取りはずす**

取りはずさずに移動したり持ち運ぶと、ディスプレイが落ちて、けがをするおそれがあります。

指示

**●電源を入れた状態で、あお向け、横たおし、逆さまにして、使用しない**

内部に熱がこもり、発火のおそれがあります。

禁止

**●画面を下にして置かない**

画面が破損（はそん）し、けがをするおそれがあります。

禁止

**●ぶら下がったり、上に乗らない**

ディスプレイがたおれたり、落ちたり、破損（はそん）すると、けがをするおそれがあります。

禁止

**●車（キャスター）付きの台に置いたときは、キャスターが動かないように固定する**

固定しないと、台が動いてディスプレイがたおれたり、落ちたりし、けがをするおそれがあります。

**●画面が破損し、液晶（液体）がもれたときは、液晶を吸い込んだり、飲んだりしない。また、液晶に触れない**

中毒を起こしたり、皮膚がかぶれるおそれがあります。
万が一口や目に入った場合は、すぐに流水で洗浄し、ただちに医師にご相談ください。皮膚や衣服についてしまった場合は、すぐに流水であらってください。

**●風通しの良い場所に置く**

装置の通風孔をふさいだり、装置の発生する熱がこもりやすい場所に置いたりすると装置内部の温度が上がり、火災・故障・誤動作の原因となります。

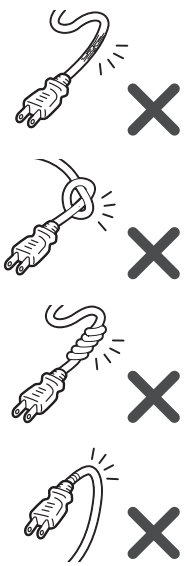
## ■電源コードの取り扱いについて

### ⚠警 告

**●電源コードを取り扱うときは、次の点を守る**

- 強く引っぱったり、折り曲げない
- 結んだ状態で使用しない
- 折れ曲がったりねじれた状態で使用しない
- 加工したり傷つけたりしない
- 膨らんでいたり、傷ついたケーブルは使用しない
- 重いものを載せない
- ドアなどにはさまない
- 加熱したり、熱器具に近づけたりしない
- 水、湿気のかかる場所で使用しない
- 束ねたままで使用しない
- ACアダプターなどに巻き付けない

守らないと、火災・やけど・感電のおそれがあります。
もし、電源コードが傷ついたときは、使用を中止してください。



**●電源コードは本製品に付属のものを使用する**

本製品付属以外の電源コードを使用すると、火災・感電のおそれがあります。

指示

**●電源プラグの刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合は、装置の電源を切り、電源プラグを抜いてから乾いた布などで清掃する**

そのまま使用すると、火災・感電のおそれがあります。
長時間使用しないときはコンセントから抜き、ほこりが付着しないように保管してください。

禁止

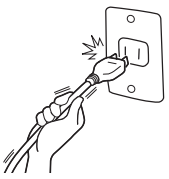
**●電源プラグは、AC100Vコンセントの奥まで確実に差し込む**

確実に差し込んでいないと、火災・感電のおそれがあります。

指示

**●電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らない**

電源プラグを持って抜いてください。
電源コードが破損し、火災・感電のおそれがあります。



禁止

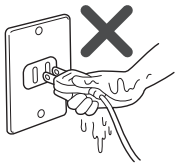
**●電源プラグから出ているアース線は、安全のためアース端子に接続する**

感電を防止します。

指示

**●ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない**

感電のおそれがあります。



禁止

**●タコ足配線をしない**

電源コードをタコ足配線にするとコンセントが加熱し、火災・感電の原因となります。

禁止

# ー ご使用上のお願い ー

## ■ 本体の使用環境、保管場所および取り扱いについて

● 直射日光が当たる場所、しめ切った車の中、暖房機器の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。

故障・誤動作の原因となります。

● 極端に低温になるところに置かないでください。

故障・誤動作の原因となります。

● 急激な温度変化を与えないでください。

結露（けつろ）が生じ、故障・誤動作の原因となります。

● 磁石、スピーカー、テレビ、磁気ブレスレットなど磁気を発するものの近くに置かないでください。

故障・誤動作の原因となります。

● ほこりの多いところに置かないでください。

故障・誤動作の原因となります。

● 振動が強いところに置かないでください。

故障・誤動作の原因となります。

● お手入れするときは、ベンジン、シンナーなどを使用しないでください。

変質・変形・変色の原因となります。

● 本製品を長時間使用する場合は、健康のために、定期的に休みを取り、目や筋肉をリフレッシュさせてください。

● 製品の上に物を乗せたり、物を落としたりしないでください。

破損・故障の原因となります。

## ■ TFTカラー液晶ディスプレイについて

・TFTカラー液晶ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られております。
非点灯、常時点灯などの画素（ドット）が存在することがあります。（有効ドット数の割合は99.99%以上です）
有効ドット数の割合とは「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」です。
また、見る角度や温度変化によって色むらや明るさのむらが見える場合があります。
これらは、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

## ■ 使用上のご注意

- パソコン本体より省電力機能を使用したり、解除した場合は液晶ディスプレイの画面の表示が乱れることがあります。
- 以下のようなことを行うと、塗装がはげることがありますのでご注意ください。
  ・キャビネットに、シンナー、ベンジン、殺虫剤などの揮発性のものをかける
  ・長時間ゴム、ビニール製品などを接触したままにしておく
  ・化学ぞうきんでふく

## ■ 画質について

- 画素ごとに色の異なるような、細かい模様表示することによって、チラツキが発生することがあります。
- 1280×1024ドット未満の表示の場合、パソコン本体側のビデオチップの性能、または設定によって、拡大表示できない場合があります。
  画面いっぱいに拡大表示するには、本製品のサポート表示タイミングを信号入力する必要があります。
  サポート表示タイミング、もしくは解像度以外が入力された場合には、画面いっぱいに拡大表示できない場合があります。
- 1280×1024ドットをサポートしているパソコン本体で1677万色を越えた表示色数にて設定すると、解像度が変わることにより正常に表示できない場合があります。
  1677万色以下でご使用ください。
- サポート表示タイミング以外を入力した場合、正常に表示しなかったり、1280×1024ドット未満の拡大表示ができない場合があります。
  ☞「付録 3 サポート表示タイミング」
- 長時間同じ画面を表示した場合、画面表示を変更したときに以前の画面の残像が発生します。
  残像は画面表示を変更したり、本製品の電源を切ることにより、徐々に解消されます。
  あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えにくくなりますので、動画のスクリーンセーバー等を使用するか、長時間使用しない場合には、本製品の電源を切るようにしてください。
- 本製品には、蛍光灯を使用しているため、使用時間の経過によって表示状態が少しずつ変化します。また、周囲の温度によっては画面の表示状態に影響を受けることがあります。
- 本製品付近での携帯電話の使用について
  通話中の携帯電話など、強い電波が発生している機器を本製品に近づけたりした場合、スピーカーからノイズ音が発生したり、画面がにじんだりチラツキが発生する場合があります。

## ■ 電波障害自主規制について

● この装置は、クラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B

● 近くにあるテレビ、ラジオなどへの影響がある場合は、以下のことを試みてください。
・テレビ、ラジオの室内アンテナの方向を変える
・テレビ、ラジオに対する本装置の方向を変える
・本装置をテレビ、ラジオから離す
・テレビ、ラジオのコンセントとは別のコンセントを使う
・コンセントと機器の電源プラグの間に市販のノイズフィルタを入れる
・受信機に屋外アンテナを使う
・平行フィーダーを同軸ケーブルに変える
● 本装置をVCCIに適合していない機器と接続すると、テレビ、ラジオなどに影響が出やすくなりますので、ご注意ください。

## ■ 日常のお手入れ

● お手入れの際は、必ず電源コードの差し込みプラグをACコンセントから抜いてください。
● 通風孔は定期的に清掃してください。
● キャビネットの汚れはやわらかい布でふいてください。
汚れがひどいときは、水にひたした布を固くしぼってふき、乾いた布でよくふいてください。
● 液晶画面は、時々やわらかい布でふいてください。
傷つきやすいため、固いものでこすったり、たたいたりしないでください。
もし、液晶画面に水滴が付着した場合は、脱脂綿や、やわらかい布でふいてください。
放置すると、変色やシミが付く原因となります。

## ■ 用途制限について

● 本製品は人の生命に直接かかわる装置等（＊1）を含むシステムに使用できるよう開発、製作されたものではないので、それらの用途に使用しないこと。

＊1：人の生命に直接かかわる装置等とは、以下のものをいいます。
- ・生命維持装置や手術室用機器などの医療用機器
- ・有毒ガスなど気体の排出装置および排煙装置
- ・消防法、建築基準法など各種法律を遵守して設置しなければならない装置など

● 本製品を、人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステム（＊2）に使用する場合は、システムの運用、維持、管理に関して、特別な配慮（＊3）が必要となるので、当社営業窓口に相談してください。

＊2：人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステムとは、以下のようなものをいいます。
（原子力発電所の主機制御システム、原子力施設の安全保護系システム、その他安全上重要な系統およびシステム）
（集団輸送システムの運転制御システムおよび航空管制制御システム）

＊3：特別な配慮とは、当社技術者と十分な協議を行い、安全なシステム（フール・プルーフ設計、フェール・セーフ設計、冗長設計する等）を構築することをいいます。

## ■ 連続運転について

本製品は24時間を超えるような長時間の連続使用を前提とした設計になっておりません。
長時間連続使用等、ご使用状態によっては早期にあるいは製品の保証期間内でも部品交換（有料）が必要となります。

## ■ ハードウェアの保証とアフターサービスについて

### ● 修理について

【無料修理（保証修理）】

取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きに記載された正常なご使用をされている場合であって、お買い上げ日から保証期間中に故障したときに、保証書に記載の「無料修理規定」に従い、ハードウェアの無料修理をいたします（詳しくは、保証書に記載の「無料修理規定」をご覧ください）。

【有料修理】

「保証書」に記載の保証期間が終了している場合、または、保証書に記載の「無料修理規定」の範囲外の作業（詳しくは、保証書に記載の「無料修理規定」をご覧ください）については、有料修理をいたします。

修理依頼につきましては、「お客様ご相談窓口（巻末を参照してください）」へお問い合わせください。

● 部品について

【部品の交換について】

保守部品（補修用性能部品）は、機能・性能が同等な新品部品あるいは新品と同等に品質保証された部品（再利用部品）を使用し、故障した部品と交換します。なお、有料修理でユニット修理を適用した場合および無料修理の交換元（取りはずした）部品の所有権は、株式会社東芝または株式会社東芝の認める各保守会社に帰属します。

【保守部品（補修用性能部品）の最低保有期間】

保守部品（補修用性能部品）とは、本製品の機能を維持するために必要な部品です。
本製品の保守部品の最低保有期間は、製品発表月から５年６ヵ月です。

## ■ 国内向けの仕様です

本製品の仕様は国内向けです。海外での保守サービスは行っておりません。
また、本体付属の電源コードは、国内向けAC100Vの仕様です。海外では使用できません。

## ■ 再輸送時の注意

本製品を再輸送する場合には、本製品の包装箱、包装材を必ずご使用ください。
そのため、包装箱、包装材は大切に保管してください。

## ■有寿命部品について

本製品には、有寿命部品（バックライト、アルミ電解コンデンサー）が含まれています。
有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境（温湿度など）等の条件により異なりますが、本製品を通常使用した場合、１日に約８時間、１ヵ月で25日のご使用で約５年です。
したがってご使用の時間が上記より長い場合は、その分寿命が短くなります。
上記目安はあくまで目安であって、故障しないことや無料修理をお約束するものではありません。
なお、24時間を超えるような長時間連続使用等、ご使用状態によっては早期にあるいは製品の保証期間内でも部品交換（有料）が必要となります。

社団法人 電子情報技術産業協会「パソコンの有寿命部品の表記に関するガイドライン」
（http://home.jeita.or.jp/page_file/20110511155520_FuLZW1JpDj.pdf）。

・有寿命部品を交換する場合は、製品の保証期間内でも有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める保守部品の単位での修理による交換となります。
交換等につきましては、「お客様ご相談窓口（巻末を参照してください）」へお問い合わせください。

## ■ バックライトについて

バックライトの寿命は出荷時状態（輝度の調整値 40）では、室温が25℃の場合で、製品使用時間約40,000時間または約５年のいずれか早いほうです。
また、輝度の調整値が50（輝度最大）にしたときは、室温が25℃の場合で、製品使用時間約20,000時間または約５年のいずれか早いほうです。
製品を長くご使用いただくために出荷時状態でのご使用をおすすめいたします。

※ 輝度調整の方法は、「5章 オンスクリーンディスプレイ（OSD）画面調整」を参照ください。

## ■アルミ電解コンデンサーについて

本製品内部の制御基板などに使用しているアルミ電解コンデンサーは有寿命部品です。アルミ電解コンデンサーの寿命は室温が25℃の場合で製品使用時間約30,000時間または約５年のいずれか早いほうです。寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭や発煙の原因になる場合がありますので制御基板の早期の交換をおすすめします。

# ― 使用環境と姿勢 ―

本製品を正しい使用環境でお使いいただければ、身体的疲労を軽減するとともに、本製品の寿命を少しでも長くできます。
安全と健康を守り、本製品をより快適にお使いいただく環境について説明します。

## ■ 本製品の置き場所

・温度は５～35℃、湿度は20～80%の環境にする
・暖房器具の近くなど、温度が高くなる場所には置かない
・腐食性の薬品のそばに置かない
・平らな場所に置く
・放熱のために、本製品の周囲に適当なスペースを確保する
　特に通風孔がある面は、少なくとも壁から10cm程度離すようにしてください。
・マウスなどの周辺機器を操作するのに適当な場所を確保する

## ■ 照明

・日光や照明が画面に反射しないように設置する
　薄く着色された窓ガラスを使用したり、ブラインドやスクリーンで光を遮ってください。
・明るい照明や日光が直接眼に入るような場所に本製品を置かない
・なるべく、柔らかい間接照明などを使用する
　書類や机を照らすためには、スタンドを使用し、その際スタンドの光が画面や眼に直接反射しない位置に置いてください。
・明るさと広い視界を得るために、本製品の角度を調節する

## ■ 使用時の姿勢

・本製品の正面に、適当な高さと距離をおいて座る
　眼精疲労を避けるために、本製品が目の高さより低くなるように調節してください。
・キーボードがひじよりも少し下にくるように椅子の高さを調節する
・おしりよりもひざが少し高くなるように座る
・背筋が曲がらないように、椅子の背もたれを調節する
・ひざとひじはほぼ90度になるように、まっすぐ座る
　前にかがんだり、背もたれによりかかったりしないでください。

## ■ 健康のために気をつけたいこと

・リラックスした姿勢で座る
肩や首が疲れないように、背中を楽にするために、椅子やマウスなどを正しい位置に置いてください。
・適度に姿勢を変える
・時々立ち上がってストレッチする
1日に何度も手首と首を動かしたりのばしたりしてください。
・1時間を超えて連続した作業をしないようにする
1時間に10～15分程度の休憩時間をとってください。
・作業時間内にも1～2分の小休止を1～2回とる
・長時間使用して、身体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに使用をやめて休息する
長時間使い続けると、腕や手首が痛くなることがあります。万が一、休息しても不快感や痛みが取れない場合は、医師の診察を受けてください。

# − 廃棄について −

## ■ 廃棄についてのお願い

本製品を破棄するときは、家庭と企業では廃棄方法が異なります。次の要領にて処理してください。
（本製品は、LCD表示部に使用している蛍光管に水銀が含まれています。）

### ● 企業で本製品をご使用のお客様へ

本製品を破棄するときは、産業廃棄物として扱われます。
東芝は、廃棄品の回収と適切な再使用・再利用処理を有料で実施しています。
以下へお問い合わせください。

【お問い合わせ先】
東芝IT機器リサイクルセンター
電話番号：045-440-6433
受付時間：9:00～7:00（土・日・祝日、当社指定の休日を除く）
FAX：046-453-2472（受付時間：24時間）

【東芝ホームページでご紹介】
URL:http://dynabook.com/pc/eco/recycle.htm

### ●家庭で本製品をご使用のお客様へ

本製品を破棄するときは、東芝の家庭系使用済み回収受付窓口へお申し込みください。廃棄品の回収と適切な再使用・再利用処理を有料で実施いたします。

【回収受付窓口】
東芝dynabook リサイクルセンタ

【回収申込方法】
● 東芝ホームページよりお申し込みの場合
URL:http://dynabook.com/pc/eco/recycle.htm（24時間受付）

● 電話にてお申し込みの場合
東芝dynabook リサイクルセンタ
TEL：043-303-0200
受付時間：10:00～17:00（土・日・祝日、当社指定の休日を除く）
FAX：043-303-2020（24時間受付）

【回収・再資源化対象化機器】
ノートパソコン、デスクトップパソコン（本体）、液晶ディスプレイ／液晶一体型パソコン、
ブラウン管（CRT）ディスプレイ／ブラウン管（CRT）一体型パソコン

＊ 出荷時に付属されていた標準添付品（マウス、キーボード、スピーカー、ケーブルなど）が同時に排出された場合は、パソコンの付属品としてあわせて回収します。
ただし、周辺機器（プリンター他）、マニュアル、CD-ROMなどの媒体は回収の対象外です。

# ■ 規約

**電波障害自主規制**

この装置は、クラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B

**瞬時電圧低下対策**

この装置は、社団法人　電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

**お願い** 本装置の仕様は国内向けになっております。海外では使用できません。

**お願い**

次のことをご承知ください。

1. 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは禁止されています。
2. 本書の内容については、予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容について、万が一不可解な点や誤りなど、お気づきの点がございましたら、「お客様ご相談窓口（巻末を参照してください）」までご一報ください。
4. 保証書は記入内容をご確認のうえ、大切に保管してください。

## ■ 概要

本製品は、東芝パソコン用オプションの17型TFT液晶カラーディスプレイです。

- 高輝度、広視野角を実現するTFT液晶パネルを採用により、映像などの動画像を鮮明に表示可能
- 17型カラーTFT液晶パネル（画素ピッチ0.264mm）の採用により、高精細な表示が可能
- 最大表示解像度1280×1024ドット対応により、グラフィックスソフトやマルチメディアソフトなどの高解像度を要求するアプリケーションソフトを最適に使用可能
- デジタル（DDWG方式のDVIインターフェース準拠）とアナログインターフェースの2種類を採用
- デジタルインターフェースは、画面調整が不要で、画面のにじみやノイズが発生しない表示を提供
- アナログインターフェースは、デジタルインターフェースを持たないパソコン本体に接続することが可能であり、画質の調整は「オンスクリーンディスプレイ（OSD）」機能により、調整が可能
  また、自動調整機能も搭載しており、画面サイズや位置等を容易に調整が可能
- VESA®方式に準拠した省電力機能（パワーセーブ）を採用（パソコン側の対応が必要です）
- VESA®方式に準拠したDDC™ディスプレイコントロール方式に対応（パソコン側の対応が必要です）
- 省スペース設計により、設置面積は、17型CRTモニターの約1/3とスペースにゆとりができ、机上を広く使用可能
- VESA®方式のFPMPMI™規格に準拠したアームスタンドに取り付けることが可能であり、机上における設置の自由度を広げることが可能（取り付け穴のピッチ幅が100mm用の市販のアームスタンドが必要です）
- VOC（揮発性有機化合物）ガイドラインに対応し、文部科学省学校環境衛生基準をクリア

VESA®　：Video Electronics Standards Association
DDC™　：Display Data Channel
FPMPMI™　：Falt Panel Monitor Physical Mounting Interface

VESA®、DDC™、FPMPMI™はVideo Electronics Standards Associationの商標、または登録商標です。

## ■ 付属品の確認

TFT液晶ディスプレイ 17型-Lには、以下のものが付属しています。
すべてが入っていることを確認してください。

- TFT液晶ディスプレイ 17型-L 本体　1台
- モニター台座　1個
- アナログ信号ケーブル　1本
- デジタル信号ケーブル　1本
- オーディオケーブル　1本
- 電源コード　1本
- 取扱説明書　1冊
- 保証書　1式

**お願い** 包装箱、包装材は大切に保管してください。
輸送するときなどに必要となります。

# 本書の読み方

## ■ 本書の構成

**1章　モニター台座の取り付け、取りはずし**

液晶ディスプレイへのモニター台座の取り付け、取りはずし方法について説明しています。

**2章　各部の名称と機能**

液晶ディスプレイの各部の名称や基本機能について説明しています。

**3章　接続方法**

液晶ディスプレイのパソコン本体への接続、角度の調整の方法や注意事項について説明しています。

**4章　電源の入れ方、切り方**

液晶ディスプレイの電源の入れ方、切り方、信号ケーブルがパソコン本体に接続されていない場合の対応方法について説明しています。

**5章　オンスクリーンディスプレイ（OSD）画面調整**

液晶ディスプレイのOSD機能や設定方法について説明しています。

**6章　便利な機能**

省電力機能、DDC™機能、サウンド機能、表示解像度の設定（変更）の高度な機能について簡単に説明しています。

**7章　故障かな？と思ったら**

液晶ディスプレイに不具合が発生したときの対応方法について説明しています。

**付録**

液晶ディスプレイのハードウェア仕様について説明しています。

**修理サービスについて**

技術的なご質問、修理のご依頼、お問い合わせについて説明しています。

# 表記上の約束

## ■ 記号の意味

各記号には、次のような意味があります。

**⚠注 意** “取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定されること”を示します。

**お願い** 故障や性能低下を起こさないために守ってほしいこと、仕様や機能に関して知っておいて欲しいことを説明しています。

**✎メモ** 知っておくと便利なことを説明しています。

☞ この説明書や他の説明書の参照先を示しています。この説明書の参照先は「 」で示し、他の説明書の参照先は『 』で示しています。

（注） 補足説明をしています。

## ■ 用語について

本書では、次の用語について定義します。

| | |
|---|---|
| 液晶ディスプレイ | TFT液晶ディスプレイ 17型-L本体を示します。 |
| OS | 特に説明がない場合は、ご使用になるオペレーティングシステムを示します。 |
| Windows 7 | Windows® 7 Professionalを示します。 |


### TradeMarks

・Microsoft、WindowsおよびWindowsロゴは、マイクロソフト企業グループの商標です。
その他記載されている会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。
・Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。

本書に掲載の商品およびサービスの名称は、それぞれ各社が商標または登録商標として使用している場合があります。

# 1 モニター台座の取り付け、取りはずし

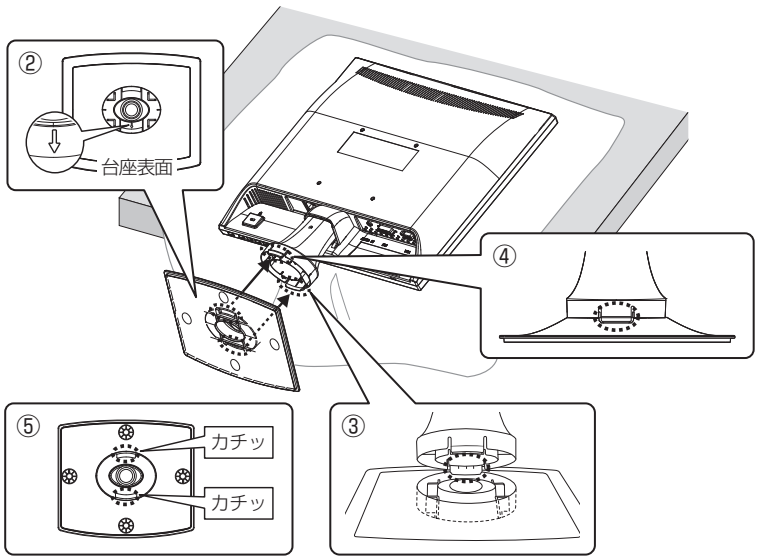
工場出荷時の状態では、モニター台座と液晶ディスプレイ本体のパネル部は別々に包装されています。お使いになる場合は、液晶ディスプレイにモニター台座を取り付け、輸送など行う場合はモニター台座を取りはずしてください。

**お願い**
- 落下などのおそれがありますので、安全のために作業は、２人以上で行ってください。
- 電源コードや信号ケーブルが液晶ディスプレイに取り付けられていないことを確認のうえ作業を行ってください。
- モニター台座、または液晶ディスプレイのパネル部を落として強い衝撃を与えたときは、いったん作業を中断し、「お客様ご相談窓口（巻末を参照してください）」に点検を依頼してください。

## 1 取り付け

### 1 図のように液晶ディスプレイ本体にモニター台座を取り付ける

① 机の上などの平らなところに柔らかい布などを敷き、パネル面を下にして本製品をおきます。
② 台座表面にある矢印を下側にします。(図②)
③ 下側のツメから入れます。(図③)
④ 上側のツメを入れます。(図④)
⑤ カチッと音がしてロックされるまで、台座を押し込みます。(図⑤)



## 2 取りはずし

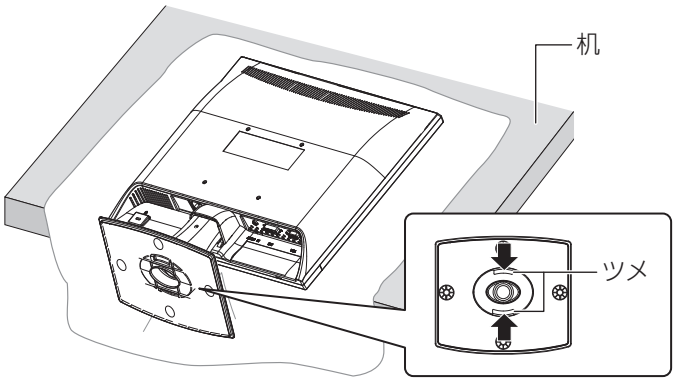
**1** 下に柔らかい布などを敷き、画面表示部を下にして置く

図のように机の端に置いてください。

**お願い** 液晶パネルの表面は傷つきやすいので硬いものでこすらないように注意してください。

**2** 図のツメを矢印の方向に押し込み、ロックをはずす

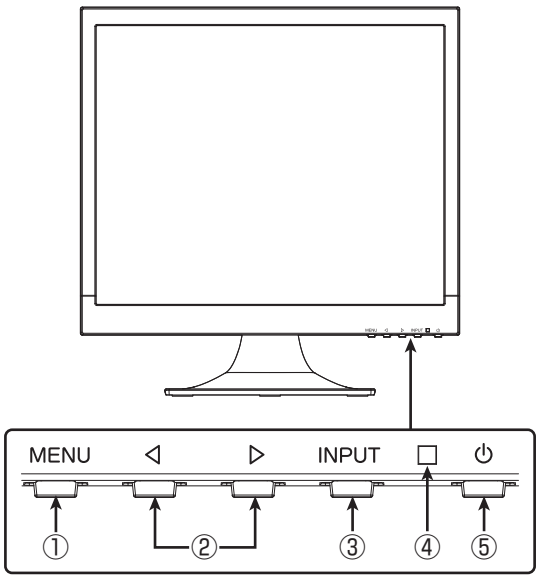
**3** 台座を手前にひっぱる



# 2 各部の名称と機能

## 1 液晶ディスプレイ

### 前面




① [MENU] メニューボタン
OSD（オンスクリーンディスプレイ）メニューの表示／消去およびOSDメニュー上の機能の選択のキャンセルなどに使用します。
また、OSDメニューを表示していないときに長押し（約3秒）でOSDメニューをロック／ロック解除します。

② [◁／▷]（左右選択）ボタン
OSDメニューの選択や調整値を増減するときに使用します。
OSDメニューが表示されていないときに押すと、ボリューム、輝度、オフタイマーの調整メニューが表示されます。

③ [INPUT]（入力／AUTO）ボタン
OSDメニュー上の機能を選択および決定する際に使用します。
また、OSDメニューを表示していないときに長押し（約3秒）で表示位置の調整を自動で行います。（アナログ入力時のみ）

(＊1) ④ 電源表示ランプ

電源が入っているときは、緑色に点灯します。
省電力機能が働いているときは、オレンジ色に点灯します。
また、電源が切れているとき、「自動電源オフ」が「自動復帰」設定のとき、一定時間信号が入力されていなければ、消灯します。

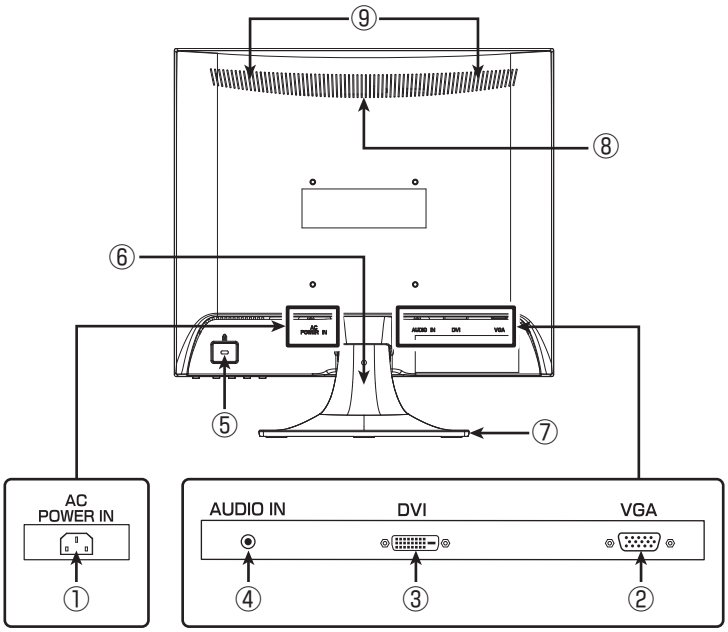
(＊2) ⑤ 電源ボタン

電源のON／OFFを行うボタンです。
また、ON、OFFを切り替えるには、2秒以上間隔をあけて押してください。

（＊1）省電力機能は、パソコン本体が省電力モード、もしくは電源を切った場合に働きます。パソコン本体より省電力機能をご利用いただく際は、パソコン本体に付属の説明書を参照してください。
☞『各パソコン本体に付属の説明書』

（＊2）電源を入れたあと、画面が表示されるまでに若干の時間を要す場合があります。
また、電源を入れたあとは動作が安定するまでに20～30秒かかります。
その間に表示画面がちらつくことがあります。

## 背面




① 電源コネクタ
付属の電源コードを接続します。

② アナログ信号コネクタ
付属のアナログ信号ケーブルの一方を接続します。

③ デジタル信号コネクタ
付属のデジタル信号ケーブルの一方を接続します。

④ オーディオ入力端子
付属のオーディオケーブルの一方を接続します。

⑤ セキュリティロックスロット
盗難防止用チェーンなどを接続し、盗難を抑止します。

⑥ スタンド
別途固定器具を取り付ける場合は、はずせます。

⑦ モニター台座
液晶ディスプレイのパネル部に取り付けて使用する台座です。

⑧ 通風孔

液晶ディスプレイ内部で発生する熱を放熱します。
通風孔をふさがないでください。

**⚠注 意**

通風孔をふさがないでください。
内部に熱がこもると、火災のおそれがあります。

⑨ スピーカー

付属のオーディオケーブルで接続されたパソコン本体からの音声を出力します。

**⚠注 意**

パソコン本体の電源を入れる前には、音量を最小に調整してください。
音量を大きく調整すると、突然大きな音が出力され、聴力障害などの原因になります。

# 3 接続方法

## 1 パソコン本体との接続

液晶ディスプレイのパソコン本体への接続について説明します。

**⚠注 意**

パソコン本体と接続する場合は、必ずパソコン本体と液晶ディスプレイ両方の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから作業を行ってください。
電源を入れたまま接続すると、感電、故障のおそれや画面が表示しないことがあります。

**お願い**

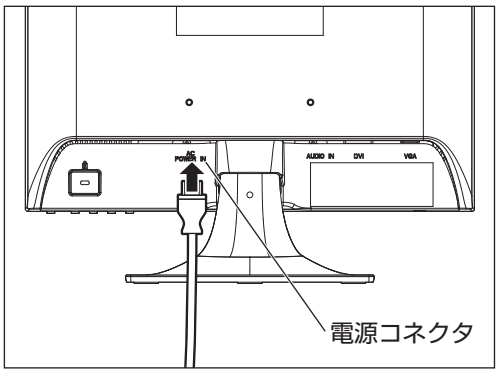
・静電気の発生しやすい環境（じゅうたんの上など）での作業は行わないでください。
静電気を帯びることにより、電子部品が故障することがあります。
・作業は湿気やほこりの少ない直射日光のあたらない場所で行ってください。
・信号ケーブル、電源コードなどの各種ケーブルを無理に折り曲げたり、引っ張ったり、重いものをのせたりしないでください。
ショート、断線による故障のおそれがあります。
・信号ケーブルのコネクタピンを直接手で触らないでください。
故障の原因となります。

### 液晶ディスプレイのパソコン本体への接続

**1** パソコン本体の電源が切れていることを確認する

**2** 電源コードを液晶ディスプレイ背面の電源コネクタに接続する

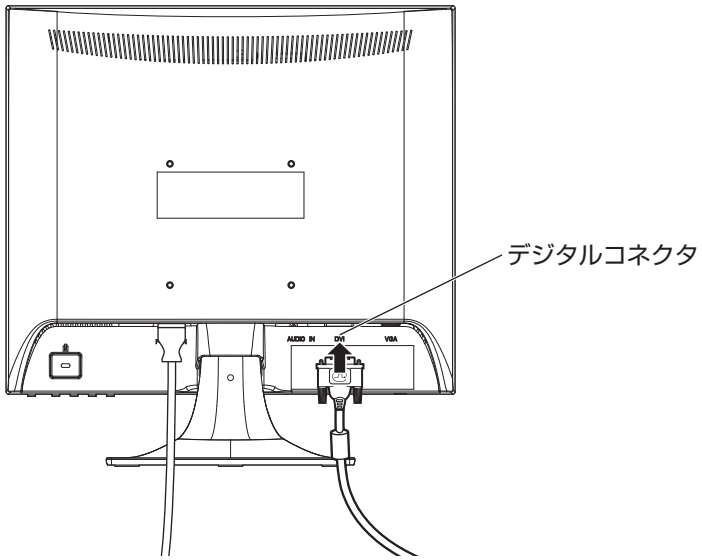
電源コードは、確実に電源コネクタの奥まで差し込んでください。



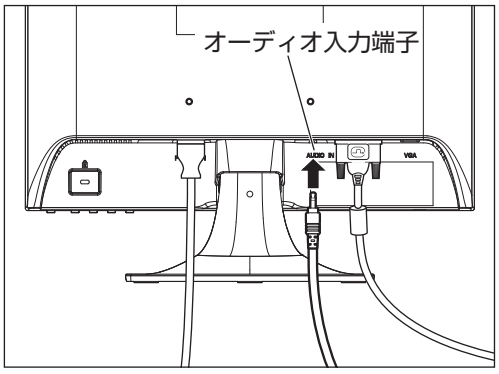
## 3 信号ケーブルを液晶ディスプレイに接続する

デジタル信号ケーブルまたはアナログ信号ケーブルのプラグを液晶ディスプレイのコネクタに接続し、固定用ネジを手で回して固定します。

**お願い** 固定用ネジは、必ず手で固定してください。ドライバーなどを使用すると固定用ネジが破損するおそれがあります。

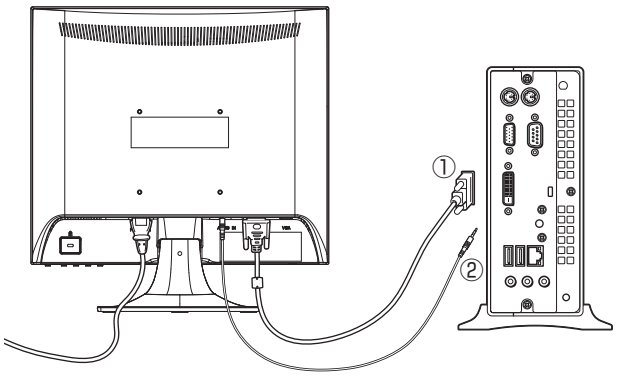



## 4 オーディオケーブルのプラグの一方を液晶ディスプレイ背面のオーディオ入力端子に接続する



## 5 信号ケーブルをパソコン本体に接続する

① アナログまたはデジタル信号ケーブルのプラグを接続するパソコン本体のアナログまたはデジタルコネクタに接続し、固定用ネジを手で回して固定する
② オーディオケーブルのプラグのもう一方をパソコン本体のラインアウト端子に接続する



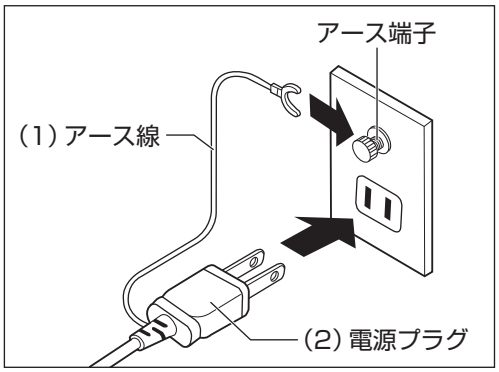

**お願い**

・パソコン本体のアナログまたはデジタルコネクタの位置は機種により異なります。パソコン本体に付属の説明書でアナログまたはデジタルコネクタの位置を確認し、接続してください。
・固定用ネジは、必ず手で回して固定してください。ドライバーなどを使用すると固定用ネジが破損するおそれがあります。
・オーディオケーブルのパソコン本体への接続については、機種により、接続方法が異なります。各パソコン本体に付属の説明書を参照してください。
☞『各パソコン本体に付属の説明書』

## 6 電源コードのアース線をアース端子に接続する（1）

## 7 電源プラグをACコンセントに差し込む（2）

電源プラグは、確実にACコンセントの奥まで差し込んでください。




**⚠注 意**

・必ず付属の電源コードをお使いください。市販の電源コードや他の電気製品の電源コードには、形状が同じでも定格電圧・電流が異なるものがあります。
・電源プラグから出ているアース線は、安全のため必ずアース端子に接続してください。感電を防止します。
・付属の電源コードは、本製品以外には使用しないでください。
付属の電源コードは、本製品専用です。

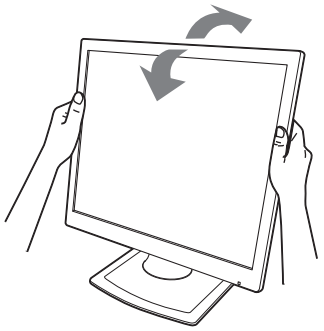
### 液晶ディスプレイのパソコン本体からの取りはずし

信号ケーブル、電源コード、オーディオケーブルを液晶ディスプレイから取りはずす場合は、液晶ディスプレイとパソコン本体の電源が切れていることを確認し、接続と逆の手順で行ってください。
電源コードを取りはずす際は、（1）電源プラグ、（2）アース線の順に行ってください。

**お願い**
- 信号ケーブルをパソコン本体、液晶ディスプレイから取りはずす場合は、信号ケーブルのプラグの固定用ネジを手で確実に緩め、固定用ネジがパソコン本体のコネクタからはずれた状態で取りはずしてください。
  緩める際、固定用ネジを強く押し込んだりしないようご注意ください。
- 固定用ネジがパソコン本体コネクタに接続された状態で、信号ケーブルに負荷（無理に引っ張るなど）をかけると、信号ケーブルの破損、およびパソコン本体、液晶ディスプレイの故障原因となります。

## 2 角度の調整について

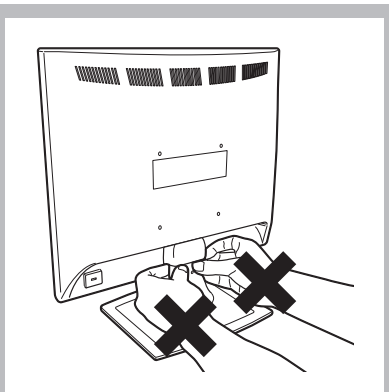
液晶ディスプレイの向きを変える場合は、右図のように両手で液晶ディスプレイの左右のフレームを持ち、静かに動かしてください。
角度の調整範囲は、垂直方向に前方で0°、後方で20°までです。



**お願い**
- 向きを変える場合、無理に動かさないでください。
- 腕やひじで、もたれかからないでください。

**⚠注 意**

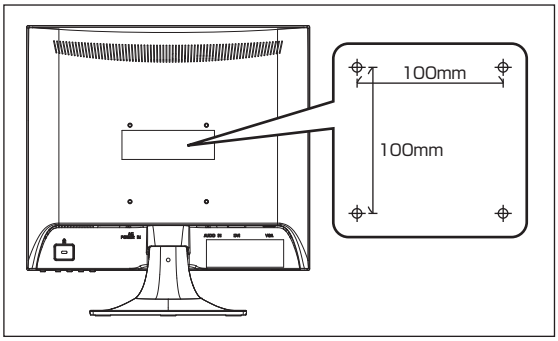
液晶ディスプレイの向きを変えたり、移動する場合は、右図に示す位置に手を入れないでください。
手や指をはさみ、けがをするおそれがあります。



## 3 アームスタンドへの取り付け／取りはずし

本製品では、パネル部を取りはずし、市販のVESA® FPMPMI™規格に準拠したアームスタンド（メーカーにより名称が異なります）へ取り付けられます。

取り付け可能アーム：
　取り付けピッチ　100mm
　固定ネジサイズ　M4×10mm




ここでは、市販のアームスタンドへの取り付け方について簡単に説明します。
作業を行う際、市販のアームスタンドの取扱説明書もあわせてお読みください。
なお、市販のアームスタンドをお使いの際は、取り付け穴のピッチ幅が100mm用のものでディスプレイ本体の質量をささえるのに十分なものであることを確認してください。
☞『市販のアームスタンドの取扱説明書』

**お願い**
・パネル部を持ち上げる場合は、落とさないように必ず両手で行ってください。
・作業は2人以上で行うことを推奨します。
　例：・台座部をしっかり押さえる人　・ネジを取りはずす人
　　・パネル部を持ち上げる人
・アームスタンドの取り付けは、お客様の責任において行ってください。
　万が一事故が発生した場合でも当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。
・固定ネジのサイズは、必ず上記に記したM4×10mmをご使用ください。

## 取り付け

**1** 液晶ディスプレイとパソコン本体の電源が切れていることを確認し、信号ケーブル、電源コード、オーディオケーブルを液晶ディスプレイから取りはずす

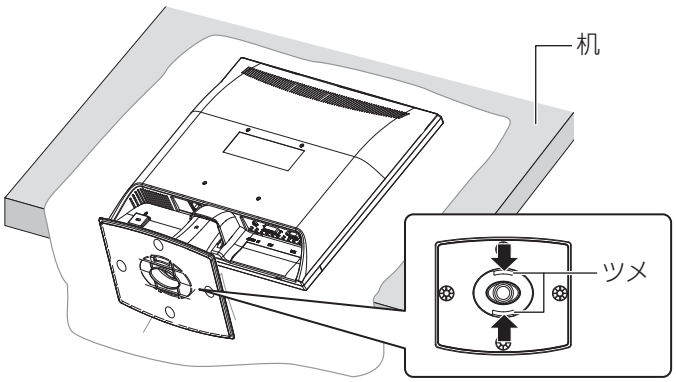
**2** 机などの平らな面にやわらかいシートなどを敷き、液晶ディスプレイの画面を下に向けて静かに置く

図のように机の端に置いてください。

**お願い** 液晶パネルの表面は傷つきやすいので硬いものでこすらないように注意してください。

**3** 図のツメを矢印の方向に押し込み、ロックをはずす

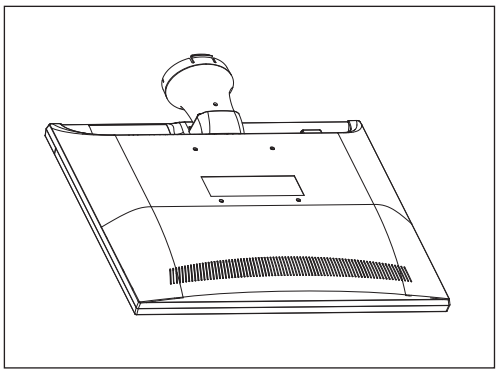
**4** 台座を手前にひっぱる



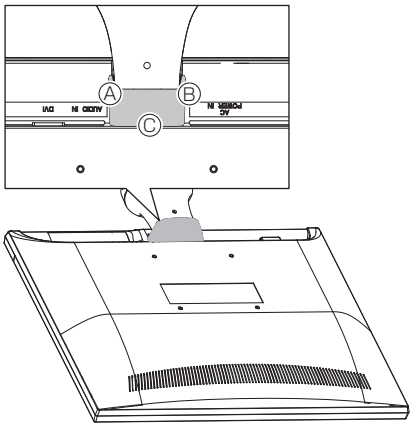

**⚠注 意** パネル部を取りはずす際には、パネル部が重いため落下させて手などをはさまないようご注意ください。

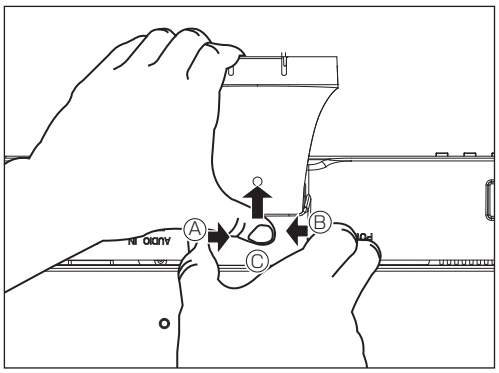
## 5 ネックカバーを取りはずす

① 液晶ディスプレイをネックが奥向きになるようにおきます。



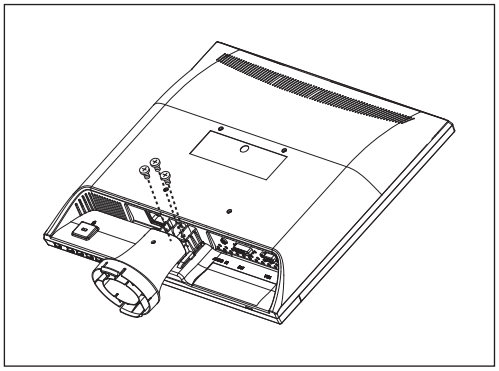
② ツメA、Bをつまんで矢印の方向に押し、もう片方の手の親指でツメCを矢印の方向に押し上げます。



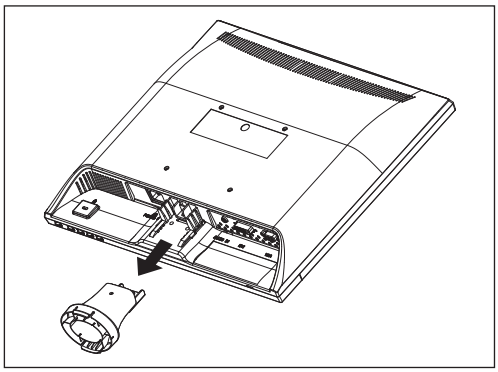




③ ネックカバーを取りはずします。

## 6 ネックのネジを3ヵ所取りはずす



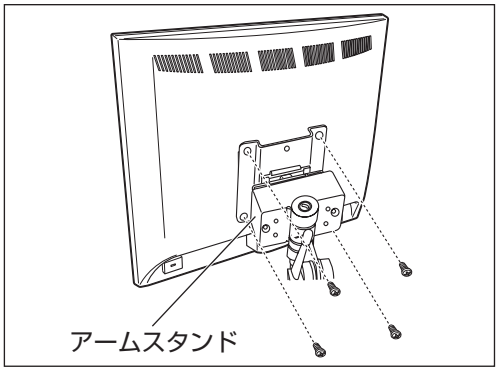
**7** ネックを矢印の方向に引いて、取りはずす



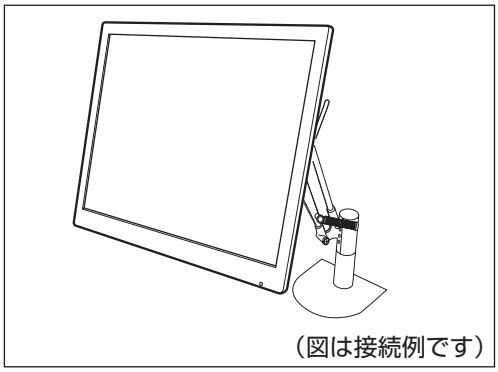
**8** 取りはずしたパネル部を市販のアームスタンドへ取り付け、アームスタンドに付属のネジ４本で固定する

アームスタンドへ取り付け後、液晶ディスプレイを前後左右に動かして、確実に固定されていることを確認してください。

**お願い**　固定ネジは、必ずM4×10mmサイズのネジをご使用ください。




取り付け完成例




**9** 各種ケーブル類を取り付ける

☞「本章 1 パソコン本体との接続」、『市販のアームスタンドの取扱説明書』

以上でアームスタンドへの取り付けは完了です。
取り付け後のアームスタンドの取り扱いや注意事項については、市販のアームスタンドの取扱説明書を参照してください。
☞『市販のアームスタンドの取扱説明書』

取りはずしたネックとモニター台座は大切に保管してください。

## 取りはずし

**1** 液晶ディスプレイとパソコン本体の電源が切れていることを確認し、信号ケーブル、電源コード、オーディオケーブルを液晶ディスプレイから取りはずす

**2** 液晶ディスプレイとパソコン本体に接続されている各種ケーブル類を取りはずす

☞「本章 1 パソコン本体との接続」

**3** 市販のアームスタンドに固定されているネジ４本を取りはずし、パネル部を取りはずす

**お願い**
・パネル部を取りはずす際は、落とさないように必ず両手で行ってください。
・作業は２人以上で行うことを推奨します。

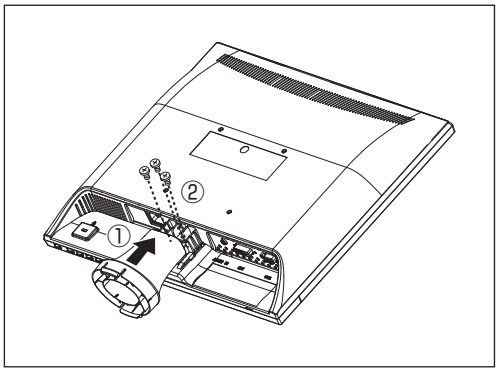
**4** 机などの平らな面にやわらかいシートなどを敷き、液晶ディスプレイの画面を下に向けて静かに置く

**お願い**
液晶パネルの表面は傷つきやすいので硬いものでこすらないように注意してください。

## パネル部へのネックとモニター台座の取り付け

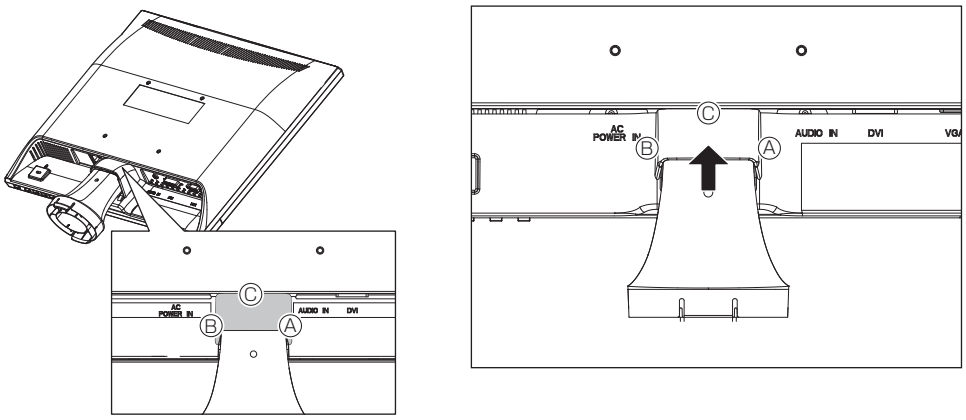
**お願い**
・パネル部を持ち上げる場合は、落とさないように必ず両手で行ってください。
・作業は２人以上で行うことを推奨します。
　例：・台座部をしっかり押さえる人　・ネジを取り付ける人
　　・パネル部を持ち上げる人

**1** ネックを図のように差し込み、3ヵ所ネジで取り付ける



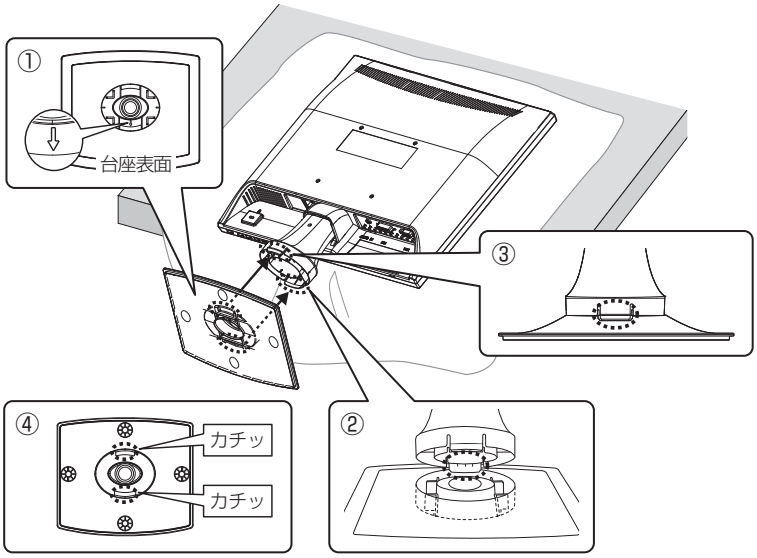
## 2 ネックカバーを図のように取り付ける

① ネックカバーのツメA、Bを本体の穴に合わせる。
② 上から押し込む
③ ネックカバーを矢印の方向に押し、ツメCを本体の穴に入れる。




## 3 台座を図のように取り付ける

① 台座表面にある矢印を下側にします。(図①)
② 下側のツメから入れます。(図②)
③ 上側のツメを入れます。(図③)
④ カチッと音がしてロックされるまで、台座を押し込みます。(図④)




## 4 各種ケーブル類を取り付ける

☞「本章 1 パソコン本体との接続」

# 4 電源の入れ方、切り方

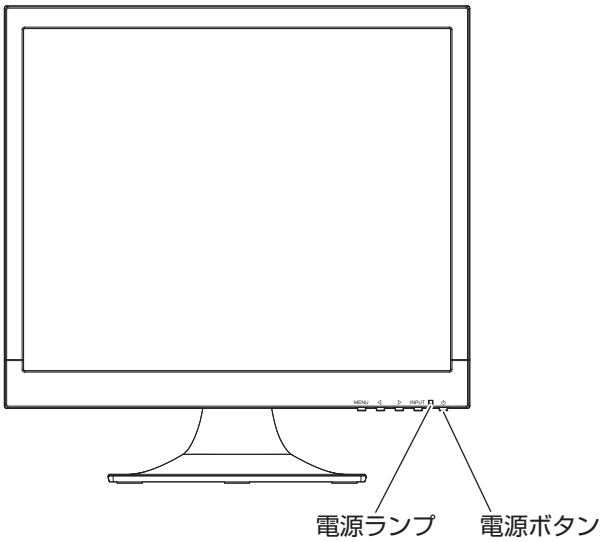
## 1 電源の入れ方

パソコン本体、および液晶ディスプレイの電源の入れ方、切り方について説明します。
操作を行う前に、液晶ディスプレイがパソコン本体に接続されていることを確認してください。
☞「3章 接続方法」

### 1 液晶ディスプレイがパソコン本体に接続されていることを確認する

### 2 液晶ディスプレイ前面の電源ボタンを押す

液晶ディスプレイの電源表示ランプは、緑色に点灯し、その後オレンジ色に点灯します。
また、電源表示ランプが緑色に点灯中に、一時的に信号が入力されてないことを示すメッセージが表示されます。




### 3 パソコン本体の電源を入れる

パソコン本体の電源を入れたとき、液晶ディスプレイの電源表示ランプは緑色に点灯します。
パソコン本体の電源の入れ方については、機種により異なります。
詳細は、各パソコン本体に付属の説明書を参照してください。
☞『各パソコン本体に付属の説明書』

## 2 電源の切り方

### 1 パソコン本体の電源を切る

液晶ディスプレイの電源表示ランプはオレンジ色に点灯します。
パソコン本体の電源の切り方については、機種により異なります。
各パソコン本体に付属の説明書を参照してください。
☞『各パソコン本体に付属の説明書』

### 2 液晶ディスプレイ前面の電源ボタンを押す

電源表示ランプは消灯します。

**お願い**　電源を切ったあとに再度、電源を入れるときには、2秒以上間隔をあけてください。
間隔をあけないで電源ボタンを押すと電源が正常に入らない場合があります。

## 3 信号ケーブルがパソコン本体に接続されていない場合

液晶ディスプレイの電源が入った状態で、デジタル信号ケーブル、あるいはアナログ信号ケーブルをパソコン本体に接続していない場合は、以下のメッセージが一時的に表示されます。（画面は暗いままで、電源表示ランプは、オレンジ色に点灯します。）

> 映像信号が入力されていません
> パソコンがOFFまたは省電力モードでない場合は
> パソコンとケーブルの接続をご確認ください
> ［このウィンドウは数秒後に消えます］

デジタル信号ケーブル、あるいはアナログ信号ケーブルをパソコン本体に接続してください。

**✎メモ**　パソコン本体が省電力モードに移行した場合も上記のメッセージが表示されます（画面は暗いままで、電源表示ランプは緑色の点灯からオレンジ色の点灯に変わります）。
この場合はパソコン本体の省電力を解除してください。
解除方法についての詳細は、パソコン本体に付属の説明書を参照してください。
☞『各パソコン本体に付属の説明書』

# 5 オンスクリーンディスプレイ(OSD)画面調整

各種の入力タイミングに対応するため、13種類のタイミングをサポートしています。
☞ サポート表示タイミングについて ➪「付録 3 サポート表示タイミング」

✎メモ 13種類のサポート表示タイミング以外のタイミングが入力されている場合、パソコン本体のOSの設定をサポート表示タイミングに変更してください。
OSDメニュー画面で調整しても、調整しきれない場合があります。
また、この場合、自動画面調整機能による調整はできません。
変更方法の詳細については、各OSのヘルプや取扱説明書などを参照してください。
☞『各OSのヘルプ』、『各OSの取扱説明書』
☞「付録 3サポート表示タイミング」

## 1 OSD機能について

OSD機能は、画面上で各種機能を調整します。
画面表示の位置がずれていたり、画面上にチラツキ等がある場合は、OSD機能により調整を行ってください。
アナログで接続している場合は、アナログ入力時にOSDメニューを表示していない状態で［INPUT］ボタンの長押し（約3秒）をすると、画面サイズと表示位置を自動的に調整します。
画面のチラツキや縞模様が発生した場合の調整のため、手動で微調整が必要な場合があります。

✎メモ OSD機能が起動してメニュー表示時間で設定した時間、何もボタン操作をしなかった場合には、それまでに調整された内容を保存し、OSD機能は終了します。

## 2 画面の調整方法

画面の調整方法について説明します。
液晶ディスプレイ、パソコン本体の電源が入っていることを確認してください。

✎メモ
- 画素ごとに交互に違う色や輝度を表示することによって、チラツキが発生することがあります。
- 接続されるパソコン本体によってはOSD機能による画面調整を行っても、キャラクターなどの線がにじんだ状態になったり、チラツキが発生する場合があります。
- アナログ入力の場合、画面がちらついたり、不安定なときには、垂直走査周波数（リフレッシュレート）を変更することにより改善できる場合があります。
  変更方法の詳細についてはパソコン本体に付属の説明書を参照してください。
  ☞『各パソコン本体に付属の説明書』

**1** 液晶ディスプレイ前面の［MENU］ボタンを押す
OSDが起動します。

**2** ［◁］または［▷］ボタンで各調整モードを選択し、［INPUT］ボタンで調整モードを決定する
各項目で調整できるものは以下のとおりです。

**3** ［◁］または［▷］ボタンで調整項目を選択し、［INPUT］ボタンで調整項目を決定する

**4** ［◁］または［▷］ボタンで、選択した内容の調整を行う

**5** ［INPUT］ボタンを押し、調整内容を決定、保存する

**6** ［MENU］ボタンを押し、調整モードを終了する

**7** ［MENU］ボタンを押し、OSDメニューを終了する

## 画面調整項目の流れ

| 調整モード | 調整項目 | 機能説明 |
|---|---|---|
| 表示モード | 標準 | 標準の画面設定です。 |
| | 写真 | 写真の編集・閲覧に適した画面設定です。 |
| | 映画 | DVD鑑賞、ゲームに適した画面設定です。 |
| 映像設定 | ECO | 「オン」にすると、「輝度」が「ECOステップ」に変わり、画面の輝度を消費ワット数を基準に調整できるようになります。<br>（出荷時：オフ） |
| | 輝度 | 画面の輝度を調整します。<br>※「ECO」が［オフ］の場合のみ表示されます。<br>「ECO」が［オン］の場合は、「ECOステップ」になります。<br>ECOステップ：削減したい消費ワット数を基準に画面の輝度を調整します。（出荷時：6W削減）<br>最大で10W削減まで設定できます。 |
| | コントラスト | 画面のコントラストを調整します。（出荷時：0） |
| | 色温度 | 画面の色温度を設定します。（出荷時：6500K）<br>6500K/7200K/9300K/sRGB/ユーザーの各値に設定できます。［ユーザー］を選択すると、赤/緑/青の各色を個別で調整できます。 |
| | アドバンス | ガンマ：画面のガンマを設定します。（出荷時：2.2）<br>※「色温度」を［sRGB］に設定していると、「アドバンス」は設定できません。 |
| メニュー設定 | 表示時間 | メニューの画面の表示時間を設定します。（出荷時：10） |
| | 透過 | メニューの画面の背景色を透過します。（出荷時：0） |
| | 画面情報 | ［オン］にすると、入力信号が変化したとき、液晶ディスプレイの画面右上に情報を表示します。（出荷時：オン）<br>オン：「入力信号」、「解像度」、「水平／垂直周波数」を表示します。<br>オフ：何も表示されません。 |
| | 言語 | メニューの表示言語を、日本語／英語から選べます。 |

| | | |
|---|---|---|
| その他 | スムージング | パソコン側で設定している解像度が、本製品の最大表示解像度よりも低い場合、よりなめらかな表示になるよう補正処理を行います。（出荷時：0）<br>※ 最大表示解像度でお使いの場合、この項目は表示されません。 |
| | 自動電源オフ | ［手動復帰］または［自動復帰］に設定した場合、本製品への映像信号が止まったことを検出して、本製品の消費電力を最小限にします。（出荷時：切）<br>手動復帰：省電力モードから一定時間経過後、電源をオフにします。（電源ボタンを押して復帰してください。）<br>自動復帰：液晶ディスプレイが省電力モードに入る際、節電状態にします。（LED ランプは消灯します。信号検出時に自動で復帰します。）<br>切　　：自動電源オフ無効 |
| | オートクリア | ［オン］にすると、その時点での輝度やコントラストなどのメニュー設定値を保存します。本製品の電源をオンにしたときに、その保存された値に戻ります。（出荷時オフ）<br>※「手動調整」の項目と「オフタイマー」の設定は、対象外です。 |
| | リセット | 出荷時設定に戻します。<br>※［言語］と、［色温度］の［ユーザー］の設定は、対象外です。 |
| 手動調整 | サイズ | ディスプレイ画面の水平幅を調整します。<br>※ 垂直幅の調整は行えません。 |
| | 微調整 | 画面ノイズを軽減し鮮明度を調整します。 |
| | 水平位置 | ディスプレイ画面の水平位置を調整します。 |
| | 垂直位置 | ディスプレイ画面の垂直位置を調整します。 |

## OSDメニュー画面について

### メインメニュー画面

■ 表示モード

■ 映像設定

■ メニュー設定

■ その他

■ 手動調整

## 調整方法

■表示モード

| 調整項目 | 調整内容／調整方法 |
|---|---|
| 標準 | 標準の画面設定です。<br>選択方法<br>［◁］［▷］ボタンで「標準」を選択し、［INPUT］ボタンを押す。 |
| 写真 | 写真の編集・閲覧に適した画面設定です。<br>選択方法<br>［◁］［▷］ボタンで「写真」を選択し、［INPUT］ボタンを押す。 |
| 映画 | DVD鑑賞、ゲームに適した画面設定です。<br>選択方法<br>［◁］［▷］ボタンで「映画」を選択し、［INPUT］ボタンを押す。 |

■映像設定

| 調整項目 | サブメニュー | 調整内容／調整方法 |
|---|---|---|
| ECO | | ECOのオン／オフを選択します。<br>オン：「輝度」が「ECOステップ」にかわります。<br>オフ：出荷時設定です。<br>・ECOモードをオンの設定値にする<br>［◁］［▷］ボタンで「オン」を選択し、［INPUT］ボタンを押す。<br>・ECOモードをオフの設定値にする<br>［◁］［▷］ボタンで「オフ」を選択し、［INPUT］ボタンを押す。 |
| 輝度 | | 画面の輝度を調整します。（出荷時：40）<br>・輝度を上げる場合<br>［▷］ボタンを押して値を調整し、［INPUT］ボタンを押す。<br>・輝度を下げる場合<br>［◁］ボタンを押して値を調整し、［INPUT］ボタンを押す。<br>※ECOがオンの場合、輝度は［ECOステップ］と表示されます。調整方法は、輝度と同じになります。調整値は消費ワットの削減値で表示されます。 |
| コントラスト | | 画面のコントラストを調整します。（出荷時：0）<br>・コントラストを上げる場合<br>［▷］ボタンを押して値を調整し、［INPUT］ボタンを押す。<br>・コントラストを下げる場合<br>［◁］ボタンを押して値を調整し、［INPUT］ボタンを押す。 |

| | | |
|---|---|---|
| 色温度 | | 画面の色温度を設定します。（出荷時：6500K）<br>・6500K<br>［◁］［▷］ボタンで「6500K」を選択し、［INPUT］ボタンを押す。<br>・7200K（ペーパーホワイトに近い色調）<br>［◁］［▷］ボタンで「7200K」を選択し、［INPUT］ボタンを押す。<br>・9300K（コンピュータ用ディスプレイの色調）<br>［◁］［▷］ボタンで「9300K」を選択し、［INPUT］ボタンを押す。<br>・sRGB<br>［◁］［▷］ボタンで「sRGB」を選択し、［INPUT］ボタンを押す。<br>・ユーザー<br>［◁］［▷］ボタンで「sRGB」を選択し、［INPUT］ボタンを押す。<br>※色温度は数値が大きいほど画面の色に青みが増し、数値が小さいほど、赤みが増します。 |
| | ユーザー | ユーザー：赤、緑、青の各色の濃さを調整できます。<br>①［INPUT］ボタンで調整したい色（赤、緑、青）を選択する。<br>②濃くしたい場合は［▷］ボタン、薄くしたい場合は［◁］ボタンを押す。<br>③他の色も調整する場合は、①～②の手順を繰り返す。<br>④［INPUT］ボタンを押す。 |
| ガンマ | | ガンマの値を設定します。（出荷時：2.2）<br>設定値は、［1.8］または［2.2］の2種類です。<br>・ガンマの値を1.8に設定する<br>［◁］［▷］ボタンで「1.8」を選択し、［INPUT］ボタンを押す。<br>・ガンマの値を2.2に設定する<br>［◁］［▷］ボタンで「2.2」を選択し、［INPUT］ボタンを押す。<br>※色温度をsRGBに設定しているときは、設定できません。 |

■ メニュー設定

| 調整項目 | 調整内容／調整方法 |
|---|---|
| 表示時間 | OSDメニュー画面の表示時間を設定します。（出荷時：10）<br>「表示時間」の画面で［INPUT］ボタンを押す。<br>［◁］［▷］ボタンで時間を選択し、［INPUT］ボタンを押す。 |
| 透過 | OSDメニュー画面の背景色の透過を設定します。（出荷時：0）<br>「透過」の画面で［INPUT］ボタンを押す。<br>［◁］［▷］ボタンで値を選択し、［INPUT］ボタンを押す。 |
| 画面情報 | 液晶ディスプレイの画面右上に画面情報を表示します。（出荷時：オン）<br>オン：入力信号、解像度、水平/垂直周波数を表示します。<br>オフ：何も表示されません。<br>「画面情報」の画面で［INPUT］ボタンを押す。<br>［◁］［▷］ボタンでオン／オフを選択し、［INPUT］ボタンを押す。 |
| 言語 | メニューの表示言語を、日本語／英語から選びます。<br>「言語」の画面で［INPUT］ボタンを押す。<br>［◁］［▷］ボタンで日本語／英語を選択し、［INPUT］ボタンを押す。 |

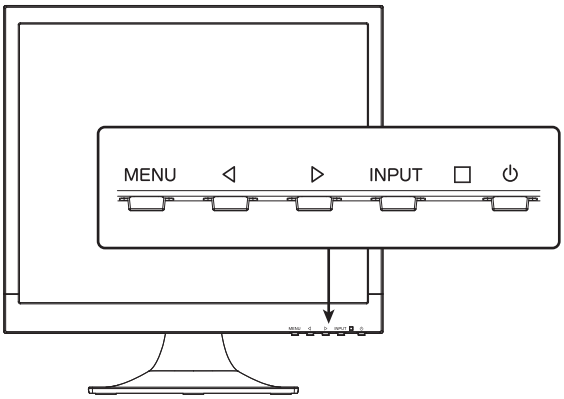
■ その他

| 調整項目 | 調整内容／調整方法 |
|---|---|
| スムージング | なめらかな表示になるよう補正処理を行います。<br>本機能は、解像度が1280×1024未満の場合有効です。（出荷時：0）<br>・スムーズ効果を上げる場合<br>［▷］ボタンを押して値を調整し、［INPUT］ボタンを押す。<br>・スムーズ効果を下げる場合<br>［◁］ボタンを押して値を調整し、［INPUT］ボタンを押す。 |
| 自動電源オフ | ［手動復帰］または［自動復帰］に設定した場合、本製品への映像信号が止まったことを検出して、本製品の消費電力を最小限にします。（出荷時：切）<br>・手動復帰<br>省電力モードから一定時間経過後、電源をオフにします。<br>（電源ボタンを押して復帰してください。）<br>手動復帰の選択<br>［◁］［▷］ボタンで「手動復帰」を選択し、［INPUT］ボタンを押す。<br>・自動復帰<br>液晶ディスプレイが省電力モードに入る際、節電状態にします。<br>（LEDランプは消灯します。信号検出時に自動で復帰します。）<br>自動復帰の選択<br>［◁］［▷］ボタンで「自動復帰」を選択し、［INPUT］ボタンを押す。<br>・切<br>自動電源オフ無効<br>切の選択<br>［◁］［▷］ボタンで「切」を選択し、［INPUT］ボタンを押す。 |
| オートクリア | 「オン」にすると、その時点での輝度やコントラストなどのメニュー設定値を保存します。本製品の電源をオンにしたときに、その保存された値に戻ります。（出荷時オフ）<br>※「手動調整」の項目と「オフタイマー」の設定は、対象外です。<br>・オートクリアをオンの設定値にする<br>［◁］［▷］ボタンで「オン」を選択し、［INPUT］ボタンを押す。<br>・オートクリアをオフの設定値にする<br>［◁］［▷］ボタンで「オフ」を選択し、［INPUT］ボタンを押す。 |
| リセット | 出荷時設定に戻します。<br>※［言語］と、［色温度］の［ユーザー］の設定は、対象外です。<br>リセットの実行<br>［◁］［▷］ボタンで「実行」を選択し、［INPUT］ボタンを押す。 |

■手動調整

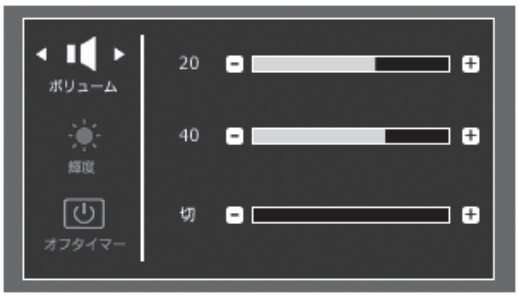
| 調整項目 | 調整内容／調整方法 |
|---|---|
| サイズ | ディスプレイ画面の水平幅を調整します。<br>※アナログ接続時に有効な機能です。<br>・水平幅を広げる場合<br>［▷］ボタンを押して値を調整し、［INPUT］ボタンを押す。<br>・水平幅を狭める場合<br>［◁］ボタンを押して値を調整し、［INPUT］ボタンを押す。 |
| 微調整 | 画面のノイズを軽減し鮮明度を調整します。<br>※アナログ接続時に有効な機能です。<br>・画面の鮮明度を上げる場合<br>［▷］ボタンを押して値を調整し、［INPUT］ボタンを押す。<br>・画面の鮮明度を下げる場合<br>［◁］ボタンを押して値を調整し、［INPUT］ボタンを押す。 |
| 水平位置 | ディスプレイ画面の水平位置を調整します。<br>※アナログ接続時に有効な機能です。<br>・画面を右方向に移動する場合<br>［▷］ボタンを押して値を調整し、［INPUT］ボタンを押す。<br>・画面を左方向に移動する場合<br>［◁］ボタンを押して値を調整し、［INPUT］ボタンを押す。 |
| 垂直位置 | ディスプレイ画面の垂直位置を調整します。<br>※アナログ接続時に有効な機能です。<br>・画面を右方向に移動する場合<br>［▷］ボタンを押して値を調整し、［INPUT］ボタンを押す。<br>・画面を左方向に移動する場合<br>［◁］ボタンを押して値を調整し、［INPUT］ボタンを押す。 |

## ダイレクト設定メニューについて




OSDメニューが表示されていないときに、［◁］または［▷］ボタンを押すと、ボリューム、輝度、オフタイマーの調整ができます。
ボリューム、輝度、オフタイマーを［INPUT］ボタンを押して選択し、［◁］または［▷］ボタンで設定を調整します。

■ダイレクト設定メニュー



# 6 便利な機能

本製品では、便利な機能として、省電力機能、DDC™機能、サウンド機能、表示解像度の変更があります。
ただし、いずれの機能についてもご使用になるパソコン側の対応が必要です。
ここでは、省電力機能、DDC™機能、サウンド機能、表示解像度の設定（変更）について簡単に説明します。

## 1 省電力機能について

省電力機能は、パソコン本体からの入力信号状態により働きます。
省電力機能を働かせるためには、パソコン側の対応が必要です。

| | 電源表示ランプ | 画面表示 | スピーカー出力 |
|---|---|---|---|
| 通常状態 | 緑色 | 有り | 有り |
| 省電力状態 | オレンジ色 | 無し | 無し |

### 省電力の設定について

本製品の省電力は、パソコン本体より設定できます。
パソコン本体より設定する省電力（スタンバイモード、サスペンドモード、オフモード等）は、パソコン本体の仕様により異なります。
詳細については、各パソコン本体に付属の取扱説明書を参照してください。
☞『各パソコン本体の取扱説明書』

## 2 DDC™機能について

本製品では、VESA®準拠のDDC™機能を持っており、画面を自動的に最適にするプラグ＆プレイに対応しています。
ただし、パソコン本体、およびOSが対応していない場合は、DDC™機能は使用できません。
パソコン本体に付属の説明書でご確認ください。
☞『各パソコン本体に付属の説明書』

# 3 サウンド機能について

サウンドを聴く場合、スピーカーを使用して、以下の利用状況に沿って、聴くことができます。
ただし、ご使用の際、付属のオーディオケーブルが接続されていることを確認してください。

## パソコン本体からのサウンド（WAVデータ等）を聴く場合

パソコン本体からオーディオケーブルを使って、液晶ディスプレイに接続してサウンドを聴くことができます。
以下の手順にて接続してください。ここでは、概要として簡単に説明します。

1. オーディオケーブルの一方を液晶ディスプレイ背面のオーディオ入力端子へ接続する
2. オーディオケーブルのもう一方をパソコン本体のラインアウト端子等へ接続する

## オーディオ機器（LINE OUT端子付）からのサウンドを聴く場合

オーディオ機器からオーディオケーブルを使って、液晶ディスプレイに接続してサウンドを聴くことができます。
以下の手順にて接続してください。ここでは、概要として簡単に説明します。

1. オーディオケーブルの一方を液晶ディスプレイ背面のオーディオ入力端子へ接続する
2. オーディオケーブルのもう一方をオーディオ機器のラインアウト端子へ接続する

## 音量調整

### OS上のボリュームコントロール、パソコン本体の音量調整

音量の調整は、以下の方法で調整を行います。

① OS上のボリュームコントロールで調整
② 液晶ディスプレイのオーディオ調整機能による調整

手順として、設定メニューが表示されていないときに、液晶ディスプレイの［◁］または［▷］ボタンを押すとオーディオ調整メニューが表示され、音量を調整できます。
①→②の順に調整を行ってください。
パソコン本体側でボリュームを調整の際、OS上にある「ボリュームコントロール」、パソコン本体のボリューム（ある場合）で調整を行います。
ただし、パソコン本体には、サウンドカード搭載のものが必要です。
「ボリュームコントロール」を使っての調整方法については、OSにより異なる場合があります。
詳細については、各OS上にあるヘルプを参照のうえ、操作してください。
☞『各OS上にあるヘルプ』

ここでは、Windows 7上の調整方法について説明しています。

**1** タスクバー右端のスピーカーアイコン［ ］をクリックする
Windowsのボリュームコントロール（右図）が表示されます。

**2** 音量が0（ボリュームのゲージが一番下）になっていないことを確認し、音量を調整する
音量が0になっている場合、液晶ディスプレイの音量を調整しても内蔵スピーカーから音声は出力されません。

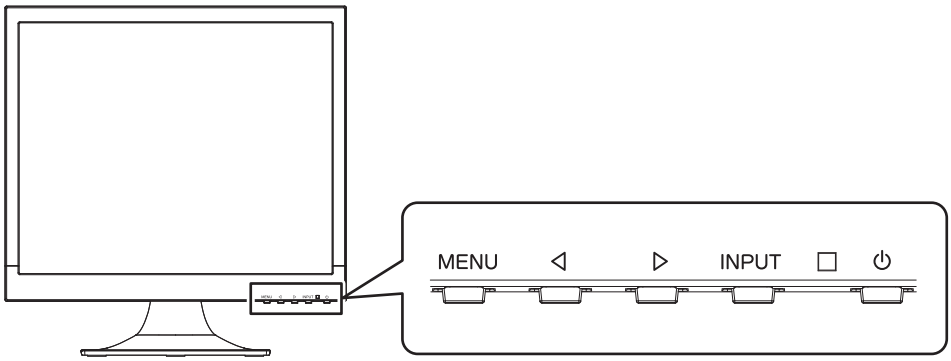
**3** ボリューム以外の場所をクリックし、Windowsのボリュームコントロールを終了する

### 液晶ディスプレイのオーディオボリューム調整

OSDメニューが表示されていないとき、液晶ディスプレイの［◁］または［▷］ボタンを押すとダイレクト設定メニューが表示され、音量を調整することができます。
調整する前に、パソコン本体のボリューム、およびOS上のボリュームコントロールでミュート状態ではないことを確認してください。
ダイレクト設定メニューの［ボリューム］が選択されている状態で、次のように操作して音量を調節してください。

・［▷］ボタンを押すと音量が大きくなります。
・［◁］ボタンを押すと音量が小さくなります。

［MENU］ボタンを押して、ダイレクト設定メニューを非表示にします。




### オーディオ機器を取り付けている場合

オーディオ機器を取り付けている場合は、各オーディオ機器のボリュームを調整してください。
調整方法は、各オーディオ機器の取扱説明書を参照してください。
☞『各オーディオ機器の取扱説明書』

✎メモ　オーディオ機器のボリュームがミュートの場合、液晶ディスプレイのスピーカーから音声は出力されません。

# 4 表示解像度の変更について

表示解像度やリフレッシュレートの変更の際は、本製品にサポートしている設定にしてください。
サポートしている表示解像度、リフレッシュレートについては、
「付録 3 サポート表示タイミング」を参照してください。

**お願い**　サポートしていない表示解像度やリフレッシュレートを設定すると、正常に表示しなかったり、本製品の故障の原因となります。

## 表示解像度の変更方法について

パソコン本体にインストールされているOS上より表示解像度を変更できます。
設定方法についてはOSにより異なることがあります。
詳細については、パソコン本体に付属の説明書や各OS上にあるヘルプを参照のうえ、操作してください。

**お願い**　本製品の最大解像度は、1280×1024画素です。
表示解像度の設定で、1280×1024画素を超えないようにご注意ください。
☞『パソコン本体に付属の説明書』、『各OS上にあるヘルプ』

# 7 故障かな？と思ったら

## 1 画面が表示されず、電源表示ランプが点灯しない場合

- 電源コードが確実に接続されているか、電源プラグが確実に接続されているかを確認してください。
  電源プラグが接続されていない場合は、パソコン本体の電源、および液晶ディスプレイの電源が切れていることを確認してから接続を行ってください。
- 再度、電源スイッチをONにし、電源表示ランプが点灯するかどうか、確認してください。
- 電源コードが破損（断線）しているおそれがありますので、ただちにパソコン本体および液晶ディスプレイの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて電源コードを確認してください。

## 2 画面が表示されず、電源表示ランプが点灯する場合

- 省電力モード（スクリーンセーバーなど）になっている場合がありますのでマウスやキーボードを操作するなどして、パソコン本体側の省電力モードを解除してください。
- 輝度調整を変えて画面を確認してください。
- 信号ケーブルが確実にパソコン本体、または液晶ディスプレイの信号コネクタに接続されているか、確認してください。
  接続されていない場合は、液晶ディスプレイの信号ケーブルをパソコン本体、または液晶ディスプレイの信号コネクタに接続してください。
- 本製品のサポート表示タイミング以外のタイミングが入力されていないか、確認してください。
  OS上の表示解像度やリフレッシュレートにて変更できます。

## 3 画面が乱れてしまう場合

- 通話中の携帯電話など、強い電波が発生している機器を液晶ディスプレイに近づけていないか、確認してください。

## 4 画面のサイズや表示位置がおかしい場合

- 自動画面調整により調整してください（アナログ入力のみ）。
  画面のチラツキや縞模様が発生している場合は、手動での調整が必要な場合があります。
- 本製品のサポート表示タイミング以外のタイミングが入力されていないか、確認してください。
  OS上の表示解像度やリフレッシュレートにて変更できます。

# 付録

## 1 ハードウェア仕様

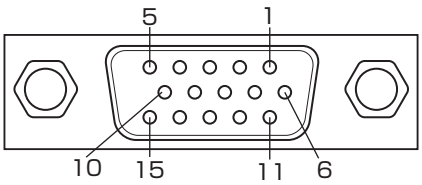
| 項目 | | 仕様 |
|---|---|---|
| パネル | | 17型カラーTFT液晶パネル |
| 輝度 | | 250cd/m2 |
| コントラスト | | 1000：1 |
| 表示 | 表示色 | 1677万色 |
| | 画面サイズ | 対角433mm（17.0型） |
| | 画素ピッチ | 0.264×0.264mm |
| | 表示画素数 | 1280×1024画素 |
| 入力信号 | アナログ入力 | 映像信号：アナログ（0.7Vp-p）<br>同期信号：TTL相当　水平、垂直分離 |
| | デジタル入力 | デジタル（HDCP対応DVI-D） |
| | オーディオ | ステレオミニジャック φ3.5 |
| 走査周波数 | | 水平：31.5-80kHz　垂直：56.3-75Hz |
| サポートタイミング | | 13モード |
| 解像度（ノンインタレース） | | 1280×1024ドット表示時：<br>垂直走査周波数　ノンインタレースで75Hzまで |
| 入力コネクタ | | アナログ入力：15ピンミニD-sub 3段<br>デジタル入力：HDCP対応DVI-D |
| 調整機能 | | OSD画面調整、チルト調整 |
| 画面角度調節 | | 垂直方向（チルト）：0～20度 |
| 電波規格 | | VCCIクラスB |
| 省電力 | | VESA-DPMS準拠 |
| スピーカー | | 1W×2 |
| プラグ&プレイ | | VESA-DDC2B準拠 |
| 温度 | 動作時 | 5～35℃ |
| | 非動作時 | －20～60℃ |
| 湿度 | 動作時 | 20～80%Rh（ただし、結露しないこと） |
| | 非動作時 | 20～80%Rh（ただし、結露しないこと） |
| 電源 | 電源電圧 | AC100V　50/60Hz |
| | 消費電力 | 23W以下（省電力モード時：0.3W以下） |
| 外形寸法 | | 約370（W）×380（H）×178（D）mm |
| 質量 | | 約2.9kg |
| 仕向地 | | 国内 |

# 2 信号コネクタピンアサイン

## アナログ信号コネクタ

| ピン番号 | 意　味 | ピン番号 | 意　味 |
|---|---|---|---|
| 1 | 赤色信号 | 9 | DDC／＋5V |
| 2 | 緑色信号 | 10 | 接地 |
| 3 | 青色信号 | 11 | 接地 |
| 4 | 接地 | 12 | DDC／SDA |
| 5 | デジタル15番ピンと接続 | 13 | 水平同期信号 |
| 6 | 赤色信号の接地 | 14 | 垂直同期信号 |
| 7 | 緑色信号の接地 | 15 | DDC／SLC |
| 8 | 青色信号の接地 | | |

コネクタ図

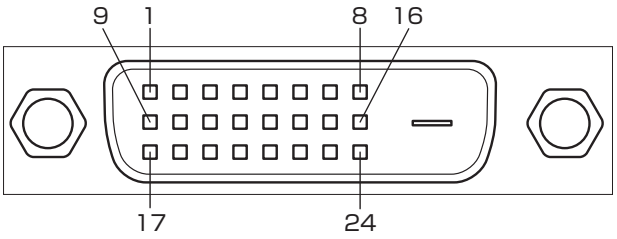



15ピン ミニD-sub 3段

## デジタル信号コネクタ

| ピン番号 | 意　味 | ピン番号 | 意　味 |
|---|---|---|---|
| 1 | デジタルチャンネル2データー | 13 | 未使用 |
| 2 | デジタルチャンネル2データ＋ | 14 | DDCの＋5V |
| 3 | デジタルチャンネル2信号の接地 | 15 | アナログ5番ピンと接続 |
| 4 | 未使用 | 16 | ホットプラグ信号 |
| 5 | 未使用 | 17 | デジタルチャンネル0データー |
| 6 | SCLデータクロック信号 | 18 | デジタルチャンネル0データ＋ |
| 7 | SDA通信信号（双方向） | 19 | デジタルチャンネル0信号の接地 |
| 8 | 未使用 | 20 | 未使用 |
| 9 | デジタルチャンネル1データー | 21 | 未使用 |
| 10 | デジタルチャンネル1データ＋ | 22 | デジタルクロック信号の接地 |
| 11 | デジタルチャンネル1信号の接地 | 23 | デジタルクロックデータ＋ |
| 12 | 未使用 | 24 | デジタルクロックデーター |

コネクタ図

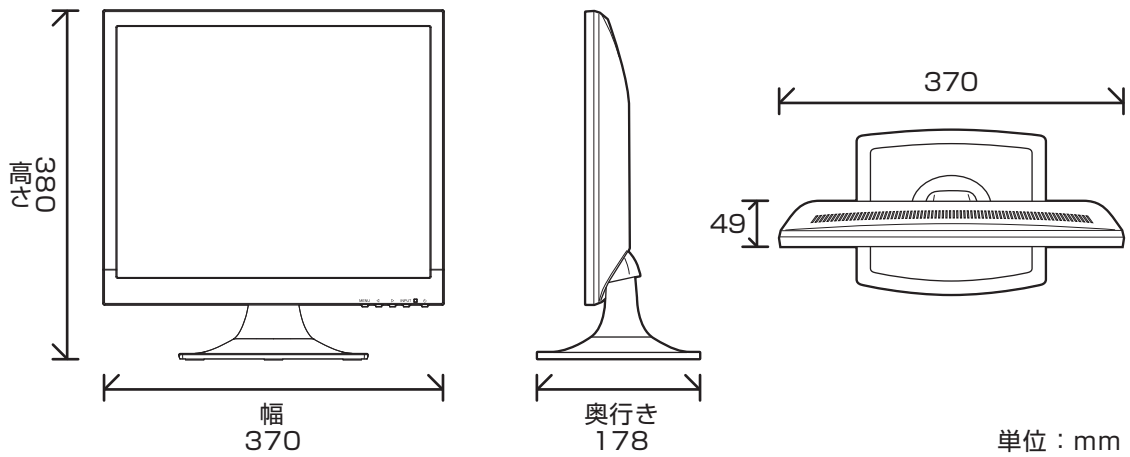



DVI-D

## 3 サポート表示タイミング

| 解像度 | | 周波数 | |
|---|---|---|---|
| 水平 | 垂直 | 水平（kHz） | 垂直（Hz） |
| 640 | 480 | 31.5 | 59.9 |
| | | 37.9 | 72.8 |
| | | 37.5 | 75 |
| 720 | 400 | 31.5 | 70.1 |
| 800 | 600 | 35.2 | 56.3 |
| | | 37.9 | 60.3 |
| | | 48.1 | 72.2 |
| | | 46.9 | 75 |
| 1024 | 768 | 48.4 | 60 |
| | | 56.5 | 70.1 |
| | | 60 | 75 |
| 1280 | 1024 | 64 | 60 |
| | | 80 | 75 |

## 4 外形寸法図




単位：mm

# 修理サービスについて

- 異常や故障が発生したら、次の①～③の内容をご確認のうえ、「お客様ご相談窓口（巻末を参照してください）」までご連絡ください。
  ① 使用している機器の名称
  ② ご購入年月日、ご購入先
  ③ 現在の状態（できるだけ詳細に）
- 保証期間中の修理については、保証書の記載内容により、無料修理いたします。
- 保証期間経過後の修理については、「お客様ご相談窓口（巻末を参照してください）」までご連絡ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。（修理に代わって同等品と交換させていただくことがあります）
- 海外での修理サービスについて
  本製品の仕様は日本国内向けとなっておりますので、海外では修理をお受けできません。
- 修理依頼される場合のお願い
  ・修理はセンドバックでのみお受けいたしております。
  お持ち込みでの修理はお受けいたしておりません。
  ・お送りいただく場合の送料、包装費用は保証期間の有無を問わずお客様のご負担となります。
  ・保証期間中の場合は、保証書を本製品に添付してください。
  ・保証期間経過後の修理については、お見積もりの必要の有無、または修理費限度額および連絡先を明示のうえ、本製品に添付してください。
  ・本修理品を緩衝材に包んでダンボール箱（本製品の包装箱、包装材を推奨します）に入れて、破損しないようにご注意のうえ、お送りください。

送付先
東芝PC IOSセンター
〒261-8580　千葉県千葉市美浜区真砂5-20-7　TOPS ビル3F
TEL　043-278-5970
FAX　043-278-9035

**日本国内用です**

本製品を使用できるのは日本国内のみです。

This product can not be used in foreign country as designed for Japan only.

**お客様ご相談窓口**

この製品のアフターサービスは、下記の「お客様ご相談窓口」にて承っております。


**お客様ご相談窓口**

**◆受付時間◆**

9:00～12:00　13:00～17:00

土曜、日曜、祝祭日、指定休日を除く

**東芝PC　IOS センター**

TEL　043-278-5970

FAX　043-278-9035



TFT 液晶ディスプレイ 17 型 -L　取扱説明書

2013 年 5 月　A2 版発行

発 行　株式会社 東芝 デジタルプロダクツ&サービス社

〒105-8001　東京都港区芝浦一丁目 1 番 1 号

http://www3.toshiba.co.jp/pc/peripheral/top.htm



©2013 TOSHIBA CORPORATION ALL RIGHTS RESERVED　無断複製および転載を禁ず